

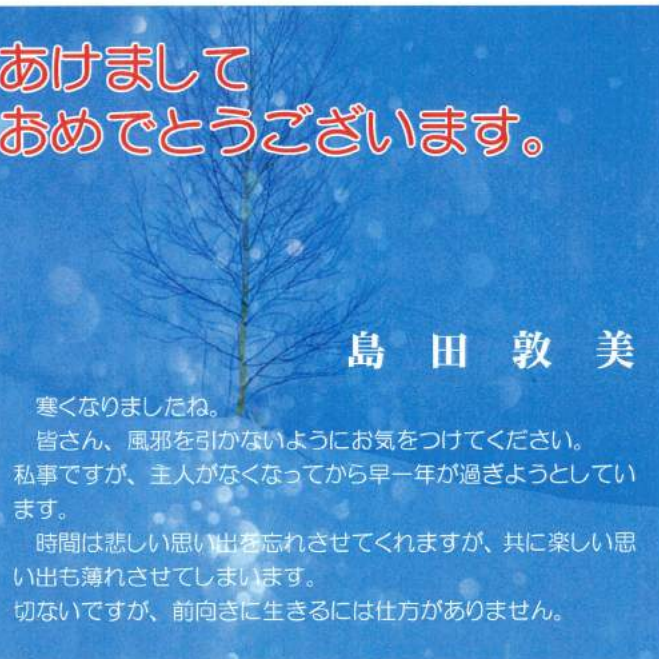
明けましておめでとうございます



神戸は震災一ヶ月前に家族で観光旅行に行き、泊まって阪神高速を加古川方面に走って帰りました。偶然に遭遇しなかった思い出があります。神戸の町は近代的なビルが立ち並び、昔の面影はまったくなくなりました。神戸ルミナエル点灯の日、何十万人の人出の中、三脚を使って撮影は大変でした。

多久和 宏明

あけましておめでとうございます。



島田 敦美

寒くなりましたね。
皆さん、風邪を引かないようお気をつけてください。
私事ですが、主人がなくなってから早一年が過ぎようとしています。
時間は悲しい思い出を忘れさせてくれますが、共に楽しい思い出も薄れさせてしまいます。
切ないですが、前向きに生きるには仕方ありません。

唇をつぐむ力を測って誰でも簡単に健康度チェック。



計測値が高いのは、口唇の筋肉が衰えている証拠です！

あけましておめでとうございます。
今年も、パタカラ健康法で元気に活躍しませんか。

抗菌閉鎖力測定器 参考価格 26,250円
口唇閉鎖カトレーニング機器（パタカラ）5,775円

発売元 株式会社パタカラ
東京都武蔵野市中町ジュネス武蔵野 6F
フリーダイヤル 0120-55-6805
HP <http://www.patakara.com>

ごあいさつ

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

今年も、後援会の皆様へ頂いた多くのご支援への感謝の中に新しい年を迎えました。

新しい自立支援法へ移行するにはあと4年の猶予期間がありますが、千鳥福祉会はこの4月に、通所更生施設 leaving car center ういんぐが小規模多機能事業所として新制度に移行します。移行すれば、経営的に苦しくなるのは承知していますが、早く乗り越える手立てを得て全体としてリスクを減らそうと判断したからです。

何十年も施設の中で暮らしてきた「収容型」からの脱却は、時代や国際社会の要請でもあり、地域に働く場と暮らしの場の獲得めぐって挑戦する時代に入ったと思っています。「変化はチャンス」です。役員一同、ベクトルを合わせて求められる福祉の創造と安心の福祉実現に努力し、多くの方から誇りをもって支援いただける法人でありたいと思います。

そして、今年も夏祭りを中心に後援会の皆様と一層の連携を深め、お互いに元気が出るような一年にしたいと思っております。

本年も変わらませずよろしくお願いいたします。

Support News

後援会便り

社会福祉法人 千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL.0852-24-8820 FAX.0852-24-8825
ホームページ: <http://www.9ocn.ne.jp/~chidori>
メールアドレス: chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

2007年1月15日 No.11

年頭に思うこと



千鳥福祉会後援会 会長
稲塚 公郎
(松江土建株式会社社長)

明けましておめでとうございます。後援会の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は干支（えと）で言うと丁亥（ひのと・い）の年であります。60年に一度回ってくる訳ですが、前回の（ひのと・い）の年は昭和22年でした。ゼネストの決行や農村への買い出し、財政も企業も家計も大赤字という中で、まさに戦後の混乱と波乱の幕開けの年でした。しかしその後、新憲法の施行や6・3制教育制度の改革など戦後体制も徐々に整い、少しずつ活力も出てきましたが、また同時に記録的なベビーブームで人口の爆発的な増加という社会現象を体験しながら、新しい時代の到来を迎えるという年でありました。

歴史的に見ても（ひのと・い）の年は「新しい時代を担う新勢力と過去の勢力とが激しくぶつかりあった年」と言われているようであり、社会の変革前夜の年とも言えるかもしれません。このように考えて見ますと、ひょっとすると私達は今、激動の時代のまだ入り口の辺りにいるのかも知れません。

さて安倍内閣が発足し、各方面からの期待が高まっているように

小生の職業観



島根県商工会連合会 専務理事

岡田 昌平

小生は工業高校を出てから働き出し、会社員、団体職員、行政、会社役員、そして今、団体役員をしています。

その間、技術の仕事に飽き足らず、働きながら大学で経済を学び事務系の仕事をした後、東京から郷土の隠岐に帰ってきました。

帰るときに運良く団体職員として就職でき、商工業者や地域の為を考えて精一杯働いてきました。しかし、団体職員として役立つことの限界を感じて行政のトップに挑戦し、皆さんに支持されて就任することができ、ひたすら地域の発展と住民の福祉の向上を目指して16年働きました。

もうひと頑張りと思っておりましたが、後輩が「自分がやりたい」と言うし、小生は家庭の事情もありましたので引退したのが56歳でした。まだ、年金ももらえないので何をしようかなと思っていたら「今までの経験を生かして、第三セクターの役員をやらないか」と言う声がかかり就任して60歳を迎えました。

そこでもまた、「行政と団体の経験を生かして団体役員をやってほしいか」と声がかかり現在に至っています。

自分でも本当に「運のいいやつだな」と感じていますが、言えることはどこの職場でも懸命に働いてきたなと思っています。そうすれば

すが、最近ある新聞の見出しにあったように「減る若者 増す不安」といわれる人口減少の問題は、子や孫の次の世代の問題として、現在の世代が真剣に考えるべき最重要課題であると改めて痛感いたします。今から50年後の人口が9000万人弱、その内65歳以上の高齢者が40%で3600万人と衝撃的な数字が予想されます。子供を除き働ける人が何人でこの国を支えていくことになるのでしょうか。福祉などの分野で果たして有効な施策を打ち出して行くことが出来るのでしょうか。その対策として経営学的にまた財政学的に考えれば、国は経済成長を持続しなければ解決できないと思われませんが、必要な労働力を確保出来るかという問題が残ります。今年から本気で国も地方も、政治家も学者も、官も民も、企業も個人も、また男も女も全員で、少しでもより良い少子化対策は何かを考え、実行していくことが喫緊の課題であると思っております。

ところで毎日新聞やテレビを見ていると、財政や年金問題を始め、雇用や教育問題、また環境やエネルギー問題などの政策論議が賑やかであります。あまりにも課題が多過ぎて、そちらの方ばかりに目を奪われて油断していると、障害福祉の問題など片隅へ押しやられてしまいうそであります。国が自立支援法などの法律により、福祉政策の効率化を求めている中で、山本理事長以下スタッフの方は苦悩を重ねながら経営努力を続けておられます。私達も全員で頑張つて今年も知的障害者福祉事業の推進に協力してまいりたいと存じます。これからの一年が千鳥福祉会にとって希望のある活気に満ちた年となりますように、また会員の皆様のご活躍とご多幸を心から祈念する次第であります。



必ず人は見えています。そして今、この職場を全国に誇れる団体にしようとして頑張ってきたら、職場はだんだん良くなって成果が見えてきました。そうするとますます職員も頑張ってくれます。

小生は仕事だけでなく、社会と係わり合いのある事柄について、同じやるなら真剣に立ち向かっています。

楽に仕事するより一生懸命働いて、良い仕事をして職場や社会に役立て、人に喜んでもらえる幸せを感じています。楽に仕事をすませると自分の心に後ろめたさが生れますが賢明に仕事で取り組んで目標が達成すると充実感が生まれます。人に喜んでもらえる喜びが最高の喜びです。

アインシュタインは来日した時に「生きる目的は人に喜んでもらうことである」と言ったそうです。

講演会のお知らせ

下記の日程により千鳥福祉会の講演会を開催することになりました。役員並びに後援会会員の皆様にも多数ご参加いただきたくご案内申し上げます。

講師	島根県商工会連合会 専務理事 岡田昌平先生
演題	「私の体験—これからの島根の中小企業」
日時	平成19年3月24日（土） 16:00～
場所	ホテル宍道湖

尚、講演終了後、交流会を計画いたしております。交流会へのご参加もよろしくお願いいたします。

謹んで初春のお慶びを申し上げます。会員の皆様の御多幸と御活躍をお祈り申し上げます。



千鳥福祉会後援会 副会長
伊藤 立身
(和光電通株式会社常務取締役)

千鳥福祉会の皆様、千鳥福祉会後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成19年の新しき年を皆様と共に迎えられた事お慶び申し上げます。そして、今年一年が素晴らしい年に成ります様、心からお祈り申し上げます。昨年を顧みて、世の中全般的に良い話がなかった一年と思われず。幼児虐待・いじめ問題・教育問題・飲酒運転による痛ましい事故・官製談合・やらせタウンミーティング等、沢山の事象が発生し毎日のように報道されました。一度報道されますと連鎖的に同様な事件が起きて来る不思議な現象がこの世の中に起こりました。18年7月の「後援会便り」に飲酒運転の怖さ・恐ろしさを皆様にも感じて頂くと思い投稿致しました。その矢先、九州福岡に於いて公務員の飲酒運転による幼い子供3人の痛ましい事故が発生した事に、私自身、感慨深いものが有り実に遺憾なものと思っております。そして、この報道後、全国的に飲酒運転による事故が多発し、大きな社会問題と成りました。国を始めとしあらゆる自治体・関係機関・事業所で飲酒運転撲滅運動が展開されて来て居りますが、早期にその効果が現れるのを願って居ります。

国政も、小泉政権から安倍政権にバトンタッチされました。政治の事は良く解りませんが、あらゆる対策を講じていただき世の中が明るく良い方向に向かうよう願って居ります。勿論、事業経営の一端を担って居る者として、厳しい環境を乗り越える自助努力は必至であり、役職員並びにその家族が幸せな生活が出来る様、全社員がひとつに成り難局に向かって行きたいものです。

今年も千鳥福祉会様の発展の為に、稲塚会長の下、後援会の皆様と共に御手伝いをして行きたいと思っております。後援会会員の皆様、何卒宜しくご協力の程お願い申し上げます。どうか今年一年が、千鳥福祉会様並びに千鳥福祉会後援会の皆様にとって、明るく楽しく素晴らしい年に成ります様心からお祈り申し上げます。



千鳥福祉会後援会 副会長
長峯 幸恵

明けましておめでとうございます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

昨年は、ワークセンターフレンド竣工、千鳥福祉会 15周年、大盛況のうちに開幕したサマーフェスタなど素晴らしい年となり、これもひとえに職員、後援会の皆様のご尽力の賜物と思っております。本当にご苦労様でした。

世の中では官製談合事件、裏金問題、粉飾決算、飲酒運転による死亡事故の増加など、教育現場では、高校の未履修問題、いじめによる子供の自殺など、社会の膿がこれでもかとあちこちで出、明るい出来事が埋もれてしまったような一年でした。家庭においては、原油の高騰でガソリンや灯油が値上がりしヒューヒュー。事業所でも何かしら影響があったのではないのでしょうか。

今年こそは、明るくすばらしい世の中であることを心から願いたいものです。

今年もサマーフェスタとても楽しみにしています。しっかりお手伝いをさせていただきます。



千鳥福祉会後援会 会員
古曾志 光二
(千鳥福祉会 評議員)

皆様も、また新たな思いを胸に新年を迎えられたことと思います。私も千鳥福祉会開設と同時に勤務させていただいてはや16年、長い期間ですがあつという間だった気がしています。

この間千鳥福祉会もさまざまな困難にぶつかり大変な時期もございましたが、山本理事長をはじめ理事、職員、入居者、保護者の皆様が大きな危機感を持って頑張られ、今日の施設を作り上げられました。今では地域の方々にも受け入れていただき、このような立派な施設となったこと感動すら覚えます。再び大変な時代を迎えようとしていますが、今年こそ明るいニュースの多い年になりますよう、そして千鳥福祉会のますますの発展と皆様の幸せを願って念頭の挨拶にさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



千鳥福祉会後援会 監事
青山 まゆみ

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ってみると大人も子供も含め社会全体が混乱し悲しい事件が多かったように思います。もちろん良い事も沢山あり、特にスポーツに関しては素晴らしい結果を多く出した一年でした。

私個人としては色々な事がありすぎて、充実した一年でした。

ところで年末に銀行へ行きました。12月25日という大変混雑する日だったのですが、順番待ちの方も大勢いました。そんな中で番号が呼ばれた一人の体調の悪そうな中年の男性がゆっくりと立って窓口へ行こうとした時、60代後半の男性がいきなり大声をあげ、「呼ばれたならさっさと行けよ!バカがお前は!」といった言葉で怒鳴ったんです。20人~30人の人がいましたが一瞬全体がシーンとなって嫌な空気が漂いました。それも数分してまた怒鳴ったんです。みんな待たされているのは同じ。なのに一人でそんなにイライラして、まさに「八つ当たりもいいとこ」です。活性酸素出すとガンになっちゃうよという感じでした。60数年この人はどんな生き方をしてきたんだろうかと思いつき虚しさを感じました。人生というのはその後半をどのように生きるかだよなあと教えられる場面でもありました。

Dr.コパさん曰く2007年は12支のまとめの年で12年分の幸せがやってくるそうです。過去の爽りを味わい、未来の新しい夢への種蒔きをする時。今年新しい事を始めるのに絶好の年かと。

しっかりと目標を見つめ、充実した一年にしたいです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

千鳥福祉会後援会 理事
野津 瑞江
(株式会社 神谷鉄筋 常務取締役)

皆様、新年おめでとうございます。この新しい年が、千鳥福祉会様の新たな発展の年となりますように願っております。

また、日頃より千鳥福祉会の事業に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、誠に有難うございました。ここに改めてお礼申し上げます。

昨年は、ご利用者、ご家族をはじめ、ボランティア、地域、関係所機関の方々には、ひとかたならぬご理解とご協力を賜りましたことを心から感謝申し上げますとともに、本年もよろしくお願い申し上げます。

本年は、自立支援法が実施に向けて動きだします。その自立支援法を適切に運用して障害のある人々の自立と社会参加を促進するために、地域福祉施設の中核となって、サービスモデルの提示が出来ればと期待しております。福祉を取り巻く環境が大きく変化している時こそが大いなる活躍の機会であり、千鳥福祉会の新たな発展のために関係者各位の一層のご協力をお願いする次第です。

伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)
山陰支店 松江営業所

所長 土江 誠

会員の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。私も本年41歳となり、体調も気にしなければならぬ年齢となってきました。3月には二女の高校受験も控え、気持ちだけは落ち着いていたいものです。

以前読んだ本の中で、「心の豊かさ」と「物の豊かさ」のどちらに生活の力点を置かうかという問いに対し、6割の人が「心・・・」をあげ、旅行・イベント・サービスなど教養娯楽費が大幅プラスとありました。人々の志向が心で感じ、たくさんのお祝い出をのぞきたい人、多くの方に喜んでもらえるような事をしたいという人が増えているという内容でした。

ここに、千鳥福祉会のサマーフェスタを想い、少しでも私達がお役に立てる機会をいただけることに感謝しております。

最近、いじめや虐待などばかり報道されますが、人との交流を自ら進んでする事で何かを感じ、良い年としたいものです。本年もよろしくお願い致します。



ワタキューセイモア(株) 米子営業所 所長
大西 頼宣



松江土建株式会社 建築部営業課長
河原 利行



松江土建株式会社 建築部次長
原田 正治



松江土建株式会社 建築部設計課長
多久和 宏明

祭は人を結ぶ

千鳥福祉会後援会 監事
岩崎 光春
(クリエイティブプロダクションアトス代表取締役)

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

当社の仕事は、広告プロダクションです。広告に関する全てを実施しています。その中でも昨年は、「祭り年」でした。3月あるお店のオープンで「さんまのまんまちゃん」呼んで、子供達との交流。(写真A)そして、写真にはありませんが、6月~7月まで毎週土曜日に祭を実施。地元のアマチュアバンドのみなさんと一緒に祭を盛り上げました。もちろん、7月海の日千鳥福祉会のサマーフェスタも、盛り上がりました。8月の松江の水郷祭と同じ日に実施した「大納涼祭」。(写真B)

そして今年最後飾るお祭りが隠岐の島で開催した祭り。残念雨降り! (写真C)

数々の祭に関わらせていただいていた一番感じる事が、祭は人々の壁を作らないということ。こちらから、壁をとり発信すれば子供も大人もちゃんと意思を返してくれます。祭りに対し、怒りを感じる人はいません。祭という間口。これは我々の生活でも同じこと。ほんの小さな間口でも、扉が開くと人は入ってきます。「間口=人の心」だと思いませんか?今、この日本がおかしくなってきました。というより、人々の気持ちがおか



しくなっています。素直に間口を、ほんの少しだけでも開ければ、人は入ってくる事ができます。扉を開ける勇気、それはそんなに大変なことではないと思います。新しい年を迎え、気分も一新!今年はほんの少しだけ人に対し、勇気を持って扉を開けてみませんか。一步前へ。どこかのコマーシャルみたいですけど、一步前へ出て、新しい結果をみんなで出しませんか。今年も祭り年になりそうな予感!

「福祉について思ったこと」



千鳥福祉会後援会 理事
佐藤 エミ子
(尚 司 建設)

明けましておめでとうございます。皆様お揃いで元気に新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

千鳥福祉会のお手伝いを始めて、早くも六年になりました。その間、何のお役にも立てず申し訳なく思っています。

毎年の夏祭りにはお招き頂き、枯木も山の賑わいとばかり参加しては愉快な催しの数々を満喫しております。その折、舞台から皆さんに紹介頂きました。大勢の人波に驚き、

こうして皆さんと一緒に集う時、どのように溶け込んでいったら良いのか...福祉に縁遠かった私は戸惑うばかりでした。何度か何うち、寮生さんと親しくお話がはずむようになり、喜んでおります。その度に「優しく相手を思いやる心」、「自分を一生懸命生きること」などごく当たり前のことでありながら忘れていた、純真な心根に気付かされました。日頃私達は、身近な人へ何かの障害が出た時に、初めて悩んでそして福祉について強く追求しがちです。しかし、人間が生きていく限り決して他人事ではなく、自分自身の事でもあります。この世に生命を受けた者の共同の責務として、お互いに担って行くべき最も大切な事を学びました。

日常の仕事を通して、又身内として、深く関わっておられる関係者の皆様、昨今の厳しい現実の中でご努力が少しでも報われますように心から願っております。

私共も共通の課題として、微力ながらもお手伝いしたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。